

経済広報センター「2018年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～品川区教育委員会より8名の教員が参加

平成30年7月31～8月1日の2日間、JISAは[一般財団法人経済広報センター](#)が実施する「2018年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、品川区教育委員会より派遣された小中学校の教員が参加した。参加者数は8名。

経済広報センターは、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界と経済界とのコミュニケーションの促進」に力を入れている。「教員の民間企業研修」はその取り組みの一環として1983年から毎年行っているもので、小・中・高等学校の先生が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムである。

JISAは7年前より「教員の民間企業研修」受け入れを行ってきた。なお、当業界ではこれまで、(株)NTT データ(特例子会社)、TIS(株)、(株)野村総合研究所などのJISA会員企業が受け入れを行った実績がある。

プログラムの概要は以下のとおりである。

■1日目

社会における情報システムの重要性や、IT社会を創る人材について理解を深めてもらうため、「暮らしや社会における情報システムの役割」「情報システム構築の仕事」「ITエンジニアの職種と役割」「ネットワーク社会における個人情報保護のあり方」についてJISA事務局が説明した。その後、NEC ネクサソリューションズ(株)を訪問し、最新鋭のデータセンターを見学するとともに「マイナンバー収集代行サービス」(JISA Awards 2016 Winner 受賞)やクラウドビジネスについてレクチャーを受けた。



「暮らしや社会における情報システム」講義

■2日目

(株)ユニ・トランドを訪問し、バスビジネスの変遷と課題及び同社の「路線バスサービス」(JISA Awards 2017 特別賞受賞)についてレクチャーを受けた。その後、JISA 事務所に移動し、(株)JSOL 及び日鉄日立システムエンジニアリングより子ども向けプログラムについてレクチャーを受けるとともに実際にプログラミングを体験した。



子ども向けプログラムを体験

研修に参加した教員の皆さんには、今回の研修で学んだことを活かし、子どもたちに社会における情報システムの重要性やIT社会を創る仕事の大切さ・面白さを教えるとともに、ITの利活用による教育の高度化や学校事務の効率化に取り組んでいただくことを期待したい。

また、ご多忙な中、研修の受入に多大なご協力をいただいた NEC ネクサソリューションズ(株)、(株)ユニ・トランド、(株)JSOL 及び日鉄日立システムエンジニアリングに厚くお礼申し上げます。

(田畑)